

# 清流大川

羽地中学校  
学校だより 155号  
せいりゅうおおかわ  
H31. 1. 9

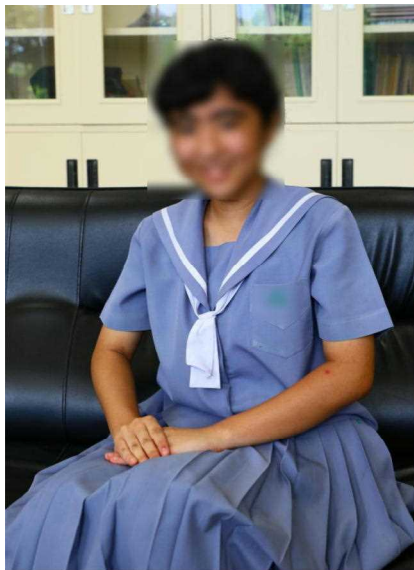


## 三学期の覚悟①

1年代表あいさつ  
明けましておめでとうございます。僕が3学期に頑張りたいことは二つあります。学習面では、一日1時間の勉強をしたり、家庭学習を毎日出せるようにしていきたいです。生活面では、早く起きて朝練に行ったり、学級目標である「語先後礼」を心がけていきたいです。僕は、3学期は2年生に進級するための準備の学期だと考えています。一年生全体で意識を持って、皆で取り組んでいきたいです。残り少ない1年生生活を副学級長としての自覚を持ち、行動していきたいです。

2年代表あいさつ  
2学期は授業中にお喋りが多い学期でした。一人がしゃべりだすと周りの人もしゃべりだし、先生が授業を止めるときも多くなりました。テストなどに影響が出ますし、成績が下がります。これから進路選択をすることがあります。テストの点数が悪いと、進路選択に困ります。お互いに注意しあって、一人一人が進路選択に意識を持って取り組めれば、と思います。注意されても文句を言う雰囲気はなくして、おしゃべりを減らす。そのような雰囲気を出せるようになるように、それぞれの進路に向き合うことが出来ると思います。

日本国内外で困っている人々のために、自分には何が出来るか  
—— 銀賞受賞 ——



国と国が仲良くするために、自分には何が出来るか



外務省と（公財）国際連合協会が主催する「第10回国際理解・国際協力のための中学生の作文コンクール」において、沖縄県の代表として出品された2作品（いずれも羽地中）の内、3年生のA・Tさんの作品が見事、銀賞に輝きました。おめでとうございます。

作品は全国から7,777作品の応募があり、予選を通過した106作品の中での受賞です。3年のA・Mさんの作品も県代表として出品され健闘しました。Tさん、Mさんとも2年生の頃に社会科の国際理解についての課題で、北島先生から助言を受けて書いた作文です。

作文は、沖縄県国際交流・人材育成財団で検索もしくは、左下のQRコードで読み込み、サイトで新着情報「いちやり場通信24号」に掲載されています。

Aさんは、世界中で学校に行けず、家族と離れて仕事をしている子ども達の様子を紹介した報道番組を見て衝撃を受け、さらに家族のために笑顔を忘れず、懸命に前に向かって生きていく姿に感動し、国際連合の役割を学びます。そして、自らの夢である「アナウンサー」として伝えていくことで、子ども達の幸せを支えていくことを決意します。

A2さんは、米国短期留学での体験から相手の立場になって考えることで、互いに理解し合えること、国と国が仲良くする方法を示した作文です。

国際交流・協力に関する情報誌

### いちやり場通信

No. 74 December, 2018



- 1 「遊藝所演習劇団」 in 名護市
- 2 災害時外国人支援サポートチーム養成講座 in 石垣市
- 3 オンライン演習 演習フォーラム
- 4 第56回国際理解・国際協力のための中学生の作文コンクール
- 5 第56回国際理解・国際協力のための高校生・大学生の作文コンクール
- 6 カラオケ大会 沖縄県中学生文化祭開催
- 7 財団主催イベント開催
- 8 沖縄県内国際交流団体イベント開催



(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 HP: <http://kokusai.oihf.or.jp>

